

# 人権尊重の視点に立った学校づくり

平成24・25年度文部科学省・熊本県教育委員会指定、宇土市教育委員会委嘱  
宇土市立住吉中学校の取組から

住吉中学校では、生徒の実態から「人権教育を通じて育てたい資質・能力」を明らかにし、年間指導計画・指導案への位置づけや授業参観シートの活用等、授業づくりの取組が工夫されています。各学校におかれましても研究指定校の実践に学び、「人権尊重の視点に立った学校づくり」の参考にさせていただきたいと思えます。

## 研究の全体概要

【研究主題】 自他の人権を守るための実践行動ができる生徒の育成  
～人権尊重の視点に立った学校づくりを通して～

人権が尊重される学校教育を実現・維持するための環境整備を行い、この基盤の上に生徒間の望ましい人間関係を形成し、人権尊重の意識と実践力を養う学習活動を展開していくことで、人権に関する知的理解と豊かな人権感覚を育み、自他の人権を守るための実践行動ができる生徒を育成する取組が行われています。

## 点検・評価が組織的に行われ、PDCAサイクルが効果的に機能している実践事例

### P（計画） 各種計画の立案

- ・生徒の実態や地域の実情等を踏まえた住吉中における「人権教育を通じて育てたい資質・能力」の重点項目及び最重要項目の設定
- ・人権教育全体計画や各教科等における「人権教育を通じて育てたい資質・能力」の位置づけ
- ・取組の点検・評価の計画

計画（P）の段階で「取組の点検・評価」の計画を取り入れている取組に工夫が見られます。

### D（実践） 各部の取組

- ・【学習研究部】 指導案に「人権教育を通じて育てたい資質・能力」及び「人権が尊重される授業づくりの視点」を位置付けた授業実践、全教科で共通実践を行うための授業モデルの設定（グループ学習を核とした学習形態の工夫と共感的人間関係に焦点化）
- ・【人間関係育成部】 多面的な生徒の実態把握と全職員による生徒理解、生徒会が中心となった生徒同士をつなげる活動、思いを伝える場の設定、体験活動の場の設定
- ・【環境部】 豊かな人権感覚を育むための環境整備（教職員の言語環境等）、外部機関との連携、校内美化の取組、中学校区三校二園の連携

すべての教科・領域等に「人権教育を通じて育てたい資質・能力」を位置づけることによって、全職員による共通実践を図り、教育活動全体での取組に工夫が見られます。

### C・A（評価・改善） 取組の点検・評価に基づく各点検・評価

- ・取組の点検・評価の計画に基づき、「教職員を対象とした点検・評価」「生徒を対象とした点検・評価」「保護者等を対象にした点検・評価」を実施
- ・各点検・評価を基に、成果と課題を明確にし、次年度の取組につなげる

成果と課題を明確にし、次年度の取組が明確になるように、計画的な評価を実施する取組に工夫が見られます。

### P（次年度の計画）

※住吉中学校の取組は、文部科学省の「平成25年度人権教育に関する特色ある実践事例」に掲載予定です。

【問い合わせ先】 人権同和教育課 096-333-2702